

茨城県工業技術センター
中期運営計画実績評価書

(平成 23 年度から平成 27 年度)

平成 2 8 年 1 1 月

茨城県工業技術センター
評価委員会

工業技術センター 実績評価

【総合評価】 試験研究機関に期待される役割や目標等に照らし合わせ、質・量の両面において着実に取組を実施していると判断できる。	H23	H24	H25	H26	H27	実績評価
	A	A	A+	A+	A+	A+

【委員からのコメント】

中期運営計画において、工業技術センターのミッションを明確にし、具体的な目標を掲げ、それを達成するための内部マネジメントの強化、中小企業ニーズの把握・支援、人材育成等の施策を確実に実施した結果、全ての目標を達成したことは大きな成果である。特に、依頼試験・設備使用などの技術支援業務は、目標値を大きく上回っており、高く評価できる。

今回の中期運営計画においては、ほとんどの目標が達成されているが、目標値を大きく上回る場合は、中期運営計画の期間中であっても自主目標部分については適宜見直しをするなど、状況に応じて対応を検討することも必要と思われる。

建屋の老朽化や耐震性が心配されるところであり、人員の増強も含めて総合的な改修計画を策定するなどして、新しい時代に対応できるセンター機能の確立に向けた具体的な動きを期待する。

i) 県民に対して提供する業務

1) 試験研究(完了課題)

年度	研究課題	H23	H24	H25	H26	H27	実績評価
H23	1) 高効率・高出力コアレスモーターに関する研究	A					A
	2) 県農産品の機能性成分の調査研究	A					
	3) 有色素大豆加工に適した納豆菌の開発	AA					
	4) 新形質米の機能性成分保持及び高度利用技術の研究	A					
H24	1) マグネシウムの腐食特性に関する研究		A				
	2) マグネシウム合金の接合と接合材の加工技術に関する調査研究		A				
	3) 液相-気相熱分解縮合法を用いたセラミックス前駆体ポリマー合成法に関する試験研究事業		A				
	4) 繊維の高機能化に関する調査研究		A				
	5) スマートグリッド向け要素技術の調査研究		A				
	6) プラスチック再利用における添加物と物性の研究		A				
	7) 笠間地域の環境調和型陶磁器によるイノベート事業		A				
H25	1) オゾン・紫外光併用による洗浄技術に関する研究			A			
	2) めっき廃液からのレアメタル分離・濃縮に関する試験研究事業			A			
H26	1) 乳酸菌スターターを用いた漬物香气成分の評価・制御技術に関する試験研究				A		
H27	1) 風力発電設備の外観検査に伴う画像処理技術に関する試験研究事業					A	
	2) テーラードブランク材の加工技術に関する試験研究					A	
	3) 難加工材料の高度切削技術に関する研究					A	
	4) 環境負荷の少ない表面処理技術に関する試験研究					A	
	5) 貴金属めっき廃液からの高効率金属回収システムの開発に関する試験研究事業					A	
	6) 納豆菌ファージ感染防御やチロシン析出抑制に効果を発揮する納豆菌に関する試験研究					A	

【委員からのコメント】

いずれの研究も、本県の特徴や技術課題を意識した内容であり、テーマ設定ならびに得られた成果は妥当と考える。また、多くの研究テーマについて、その成果が活用されていることも評価できる。

今回の中期運営計画期間で実施された試験研究のテーマは、材料に関するものが多かったと思われる。これらの研究で得られたデータが、様々な製品開発の基礎データとして活用されることを望む。

今後の研究テーマ選びについては、各業界での課題を調査して課題解決のためのテーマを選ぶことも重要だが、業界の将来の姿を見据えて、今後業界が望むであろうデータ取得のための先行したテーマを選ぶ(センターが試金石となる役割)ことも必要ではないか。

今後とも、業界、特に中小企業の課題解決のために、適切な試験研究テーマに取り組むことを期待する。

評価項目	H23	H24	H25	H26	H27	実績評価
i) 県民に対して提供する業務						
2) 技術支援業務	A	A	AA	AA	AA	AA
3) ハブ機能業務	A	A	A	A	A	A
ii) 業務の質的向上, 効率化のために実施する方策						
1) 全体マネジメント	A	A	A	A	AA	A
2) 他機関との連携	A	A	A	A	A	A
3) 外部資金の獲得方針	A	A	AA	A	A	A
4) 中小企業ニーズの把握	A	A	A	A	A	A
5) 内部人材育成	A	A	A	A	AA	A